

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成28年2月12日(2016.2.12)

【公表番号】特表2015-500839(P2015-500839A)

【公表日】平成27年1月8日(2015.1.8)

【年通号数】公開・登録公報2015-002

【出願番号】特願2014-547496(P2014-547496)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/426 (2006.01)

A 6 1 P 27/02 (2006.01)

A 6 1 P 25/00 (2006.01)

A 6 1 P 7/04 (2006.01)

A 6 1 P 9/10 (2006.01)

A 6 1 P 1/04 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/426

A 6 1 P 27/02

A 6 1 P 25/00

A 6 1 P 7/04

A 6 1 P 9/10

A 6 1 P 1/04

【手続補正書】

【提出日】平成27年12月14日(2015.12.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

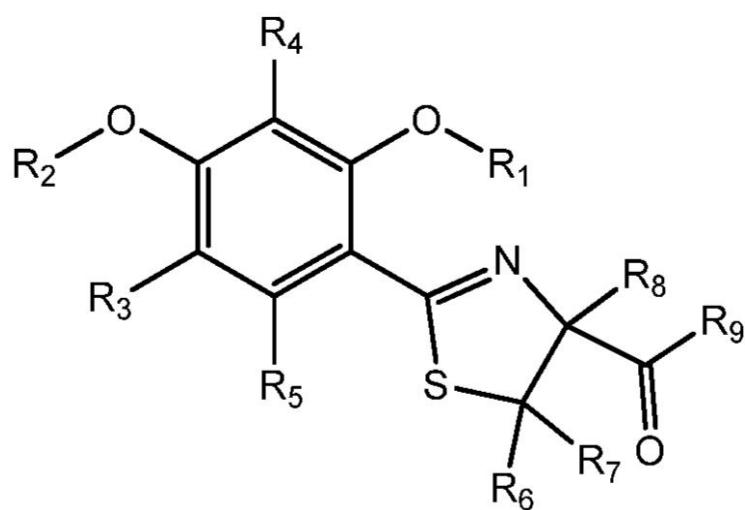
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

式(I)：

【化1】



(I)

式中、

R<sub>1</sub> は、水素、アルキルまたはアシルであり；

R<sub>2</sub> は、水素、アルキルまたは - [ (C H<sub>2</sub>)<sub>n</sub> - O ]<sub>x</sub> - [ (C H<sub>2</sub>)<sub>n</sub> - O ]<sub>y</sub> - R' であり；

R<sub>3</sub>、R<sub>4</sub> および R<sub>5</sub> は、各々独立して、水素、アルキル、アリールアルキルまたは - O R<sub>10</sub> であり；

R<sub>6</sub>、R<sub>7</sub> および R<sub>8</sub> は、各々独立して、水素、ハロゲン、アルキルまたは - O R<sub>12</sub> であり；

R<sub>9</sub> は、- O R<sub>11</sub> または - S R<sub>11</sub> であり；

R<sub>10</sub> は、水素、アルキルまたはアシルであり；

R<sub>11</sub> は、水素またはアルキルであり；

R<sub>12</sub> は、水素またはアルキルであり；

R' は、アルキルであり；

各 n の出現は、独立して 1 ~ 8 の整数であり；

x は、1 ~ 8 の整数であり；および

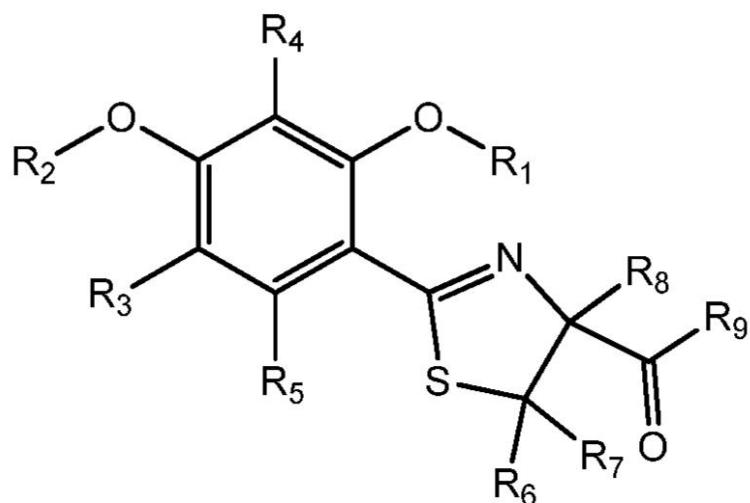
y は、0 ~ 8 の整数である；

で表される化合物、あるいはこの薬学的に許容される塩、互変異性体、溶媒和物、水和物または多形、および任意に薬学的に許容される賦形剤を含む、黄斑変性症を処置するために使用するための医薬組成物。

【請求項 2】

式 (I) :

【化 2】



(I)

式中、

R<sub>1</sub> は、水素、アルキルまたはアシルであり；

R<sub>2</sub> は、水素、アルキルまたは - [ (C H<sub>2</sub>)<sub>n</sub> - O ]<sub>x</sub> - [ (C H<sub>2</sub>)<sub>n</sub> - O ]<sub>y</sub> - R' であり；

R<sub>3</sub>、R<sub>4</sub> および R<sub>5</sub> は、各々独立して、水素、アルキル、アリールアルキルまたは - O R<sub>10</sub> であり；

R<sub>6</sub>、R<sub>7</sub> および R<sub>8</sub> は、各々独立して、水素、ハロゲン、アルキルまたは - O R<sub>12</sub> であり；

R<sub>9</sub> は、- O R<sub>11</sub> または - S R<sub>11</sub> であり；

R<sub>10</sub> は、水素、アルキルまたはアシルであり；

R<sub>11</sub> は、水素またはアルキルであり；

R<sub>1</sub>~<sub>2</sub> は、水素またはアルキルであり；

R' は、アルキルであり；

各 n の出現は、独立して 1 ~ 8 の整数であり；

x は、1 ~ 8 の整数であり；および

y は、0 ~ 8 の整数である；

で表される化合物、あるいはこの薬学的に許容される塩、互変異性体、溶媒和物、水和物または多形、および任意に薬学的に許容される賦形剤を含む、閉鎖性頭部損傷を処置することに使用するための医薬組成物。

【請求項 3】

閉鎖性頭部損傷が、脳震盪、脳挫傷または頭蓋内血腫である、請求項 2 に記載の医薬組成物。

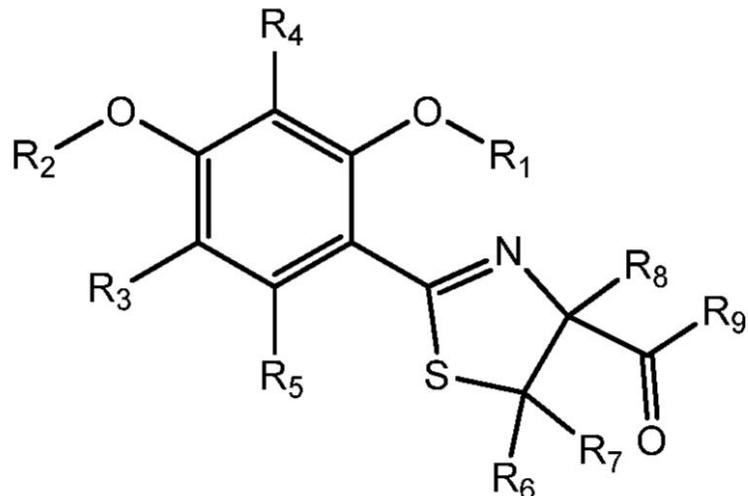
【請求項 4】

閉鎖性頭部損傷が、びまん性軸索損傷に関連している、請求項 2 に記載の医薬組成物。

【請求項 5】

式 (I) :

【化 3】



(I)

式中、

R<sub>1</sub> は、水素、アルキルまたはアシルであり；

R<sub>2</sub> は、水素、アルキルまたは - [ (C H<sub>2</sub>)<sub>n</sub> - O ]<sub>x</sub> - [ (C H<sub>2</sub>)<sub>n</sub> - O ]<sub>y</sub> - R' であり；

R<sub>3</sub>、R<sub>4</sub> および R<sub>5</sub> は、各々独立して、水素、アルキル、アリールアルキルまたは - O R<sub>10</sub> であり；

R<sub>6</sub>、R<sub>7</sub> および R<sub>8</sub> は、各々独立して、水素、ハロゲン、アルキルまたは - O R<sub>12</sub> であり；

R<sub>9</sub> は、- O R<sub>11</sub> または - S R<sub>11</sub> であり；

R<sub>10</sub> は、水素、アルキルまたはアシルであり；

R<sub>11</sub> は、水素またはアルキルであり；

R<sub>12</sub> は、水素またはアルキルであり；

R' は、アルキルであり；

各 n の出現は、独立して 1 ~ 8 の整数であり；

x は、1 ~ 8 の整数であり；および

y は、0 ~ 8 の整数である；

で表される化合物、あるいはこの薬学的に許容される塩、互変異性体、溶媒和物、水和物または多形、および任意に薬学的に許容される賦形剤を含む、脳卒中を処置することに使

用するための医薬組成物。

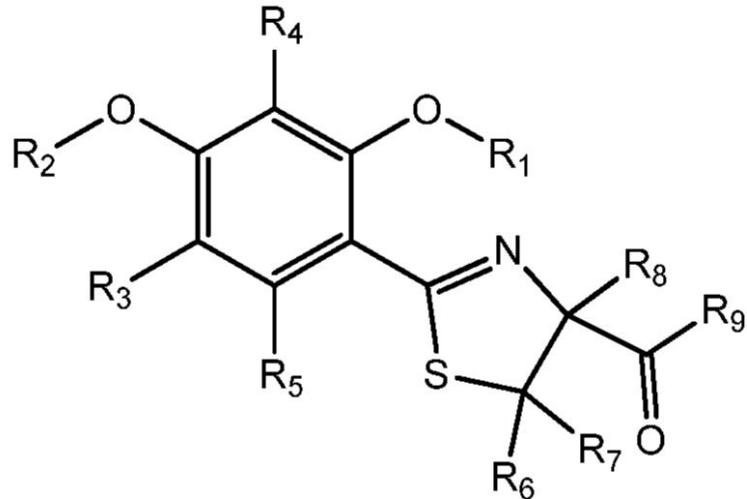
【請求項 6】

脳卒中が、出血性脳卒中または虚血性脳卒中である、請求項 5 に記載の医薬組成物。

【請求項 7】

式 (I) :

【化 4】



(I)

式中、

R<sub>1</sub> は、水素、アルキルまたはアシルであり；

R<sub>2</sub> は、水素、アルキルまたは - [(C H<sub>2</sub>)<sub>n</sub> - O]<sub>x</sub> - [(C H<sub>2</sub>)<sub>n</sub> - O]<sub>y</sub> - R' であり；

R<sub>3</sub>、R<sub>4</sub> および R<sub>5</sub> は、各々独立して、水素、アルキル、アリールアルキルまたは - O R<sub>10</sub> であり；

R<sub>6</sub>、R<sub>7</sub> および R<sub>8</sub> は、各々独立して、水素、ハロゲン、アルキルまたは - O R<sub>12</sub> であり；

R<sub>9</sub> は、- O R<sub>11</sub> または - S R<sub>11</sub> であり；

R<sub>10</sub> は、水素、アルキルまたはアシルであり；

R<sub>11</sub> は、水素またはアルキルであり；

R<sub>12</sub> は、水素またはアルキルであり；

R' は、アルキルであり；

各 n の出現は、独立して 1 ~ 8 の整数であり；

x は、1 ~ 8 の整数であり；および

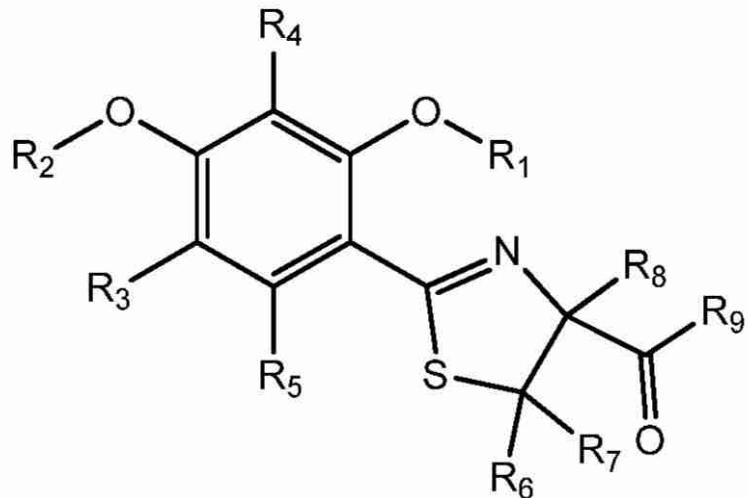
y は、0 ~ 8 の整数である；

で表される化合物、あるいはこの薬学的に許容される塩、互変異性体、溶媒和物、水和物または多形、および任意に薬学的に許容される賦形剤を含む、過敏性腸疾患を処置することに使用するための医薬組成物。

【請求項 8】

式 (I) :

【化5】



(I)

式中、

R<sub>1</sub>は、水素、アルキルまたはアシルであり；R<sub>2</sub>は、水素、アルキルまたは-[CH<sub>2</sub>)<sub>n</sub>-O]-x-[CH<sub>2</sub>)<sub>n</sub>-O]-y-R'であり；R<sub>3</sub>、R<sub>4</sub>およびR<sub>5</sub>は、各々独立して、水素、アルキル、アリールアルキルまたは-O-R<sub>10</sub>であり；R<sub>6</sub>、R<sub>7</sub>およびR<sub>8</sub>は、各々独立して、水素、ハロゲン、アルキルまたは-O-R<sub>12</sub>であり；R<sub>9</sub>は、-OR<sub>11</sub>または-SR<sub>11</sub>であり；R<sub>10</sub>は、水素、アルキルまたはアシルであり；R<sub>11</sub>は、水素またはアルキルであり；R<sub>12</sub>は、水素またはアルキルであり；

R'は、アルキルであり；

各nの出現は、独立して1～8の整数であり；

xは、1～8の整数であり；および

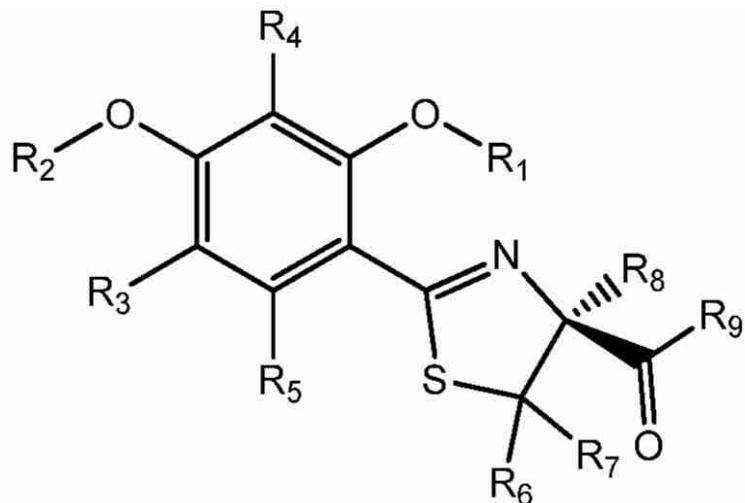
yは、0～8の整数である；

で表される化合物、あるいはこの薬学的に許容される塩、互変異性体、溶媒和物、水和物または多形、および任意に薬学的に許容される賦形剤を含む、再灌流損傷を処置するために使用するための医薬組成物。

【請求項9】

化合物が、式(I)：

【化6】



(III)

で表されるもの、あるいはこの薬学的に許容される塩、互変異性体、溶媒和物、水和物または多形である、請求項1～8のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項10】

R<sub>9</sub>が-O R<sub>11</sub>である、請求項1～8のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項11】

R<sub>9</sub>が-OHである、請求項10に記載の医薬組成物。

【請求項12】

R<sub>8</sub>が-CH<sub>3</sub>である、請求項1～11のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項13】

R<sub>6</sub>およびR<sub>7</sub>がそれぞれ水素である、請求項1～12のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項14】

R<sub>3</sub>、R<sub>4</sub>およびR<sub>5</sub>がそれぞれ水素である、請求項1～13のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項15】

R<sub>1</sub>、R<sub>3</sub>、R<sub>4</sub>およびR<sub>5</sub>がそれぞれ水素である、請求項1～13のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項16】

R<sub>2</sub>が-[ (CH<sub>2</sub>)<sub>n</sub>-O]<sub>x</sub>-R'であり；nが2～4であり；およびxが1～4である、請求項1～15のいずれか一項に記載の医薬組成物。

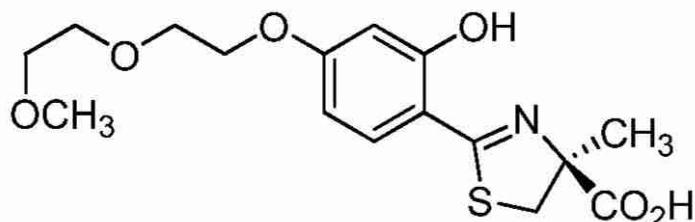
【請求項17】

R<sub>2</sub>が-[ (CH<sub>2</sub>)<sub>n</sub>-O]<sub>x</sub>-R'であり；nが2であり；xが2または3であり；およびR'が-CH<sub>3</sub>である、請求項1～15のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項18】

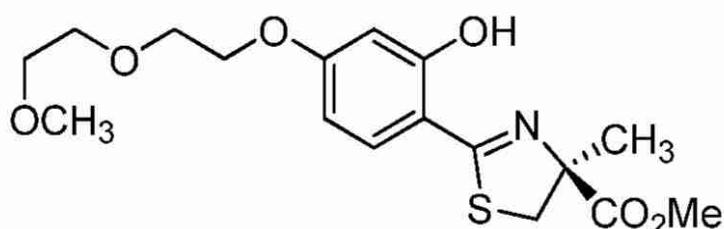
化合物が、式(III-A)、(III-B)または(III-C)：

【化 7】



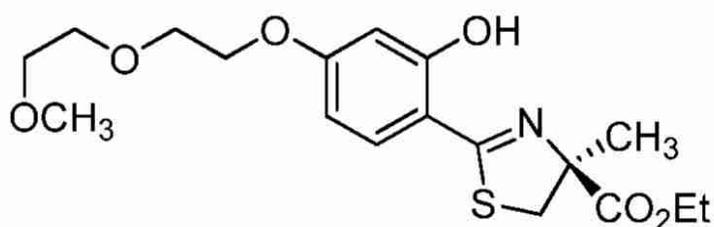
(III-A)

【化 8】



(III-B)

【化 9】



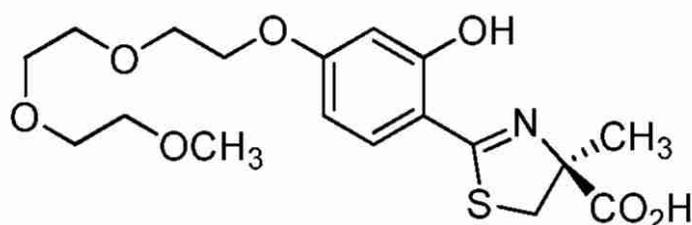
(III-C)

で表されるもの、あるいはこの薬学的に許容される塩、互変異性体、溶媒和物、水和物または多形である、請求項 1 ~ 8 のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項 1 9】

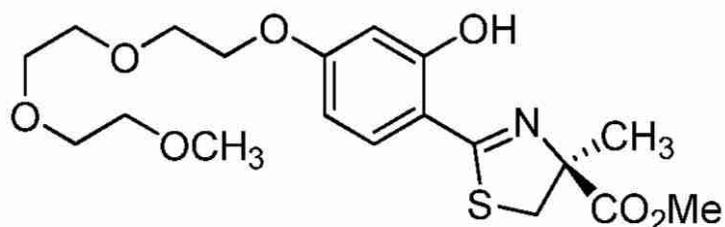
化合物が、式 (IV-A)、(IV-B) または (IV-C) :

【化 1 0】



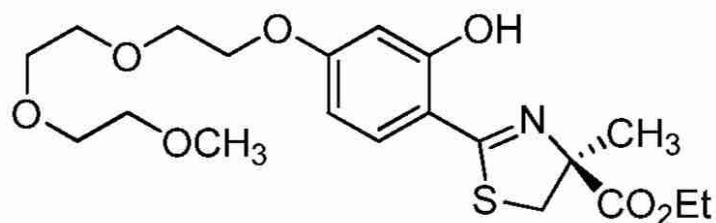
(IV-A)

【化11】



(IV-B)

【化12】



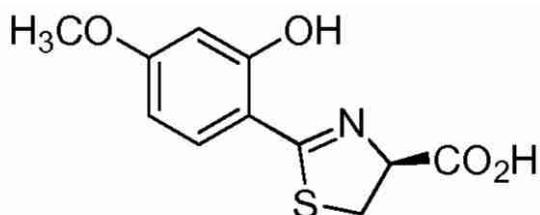
(IV-C)

で表されるもの、あるいはこの薬学的に許容される塩、互変異性体、溶媒和物、水和物または多形である、請求項1～8のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項20】

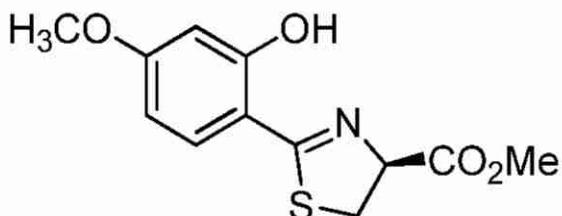
化合物が、式(V-A)、(V-B)または(V-C)：

【化13】



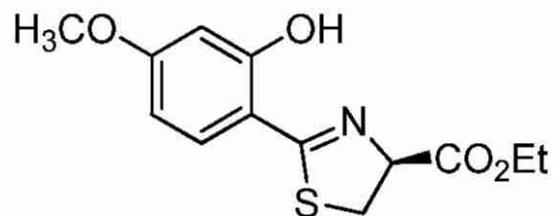
(V-A)

【化14】



(V-B)

【化15】



(V-C)

で表されるもの、あるいはこの薬学的に許容される塩、互変異性体、溶媒和物、水和物または多形である、請求項1～8のいずれか一項に記載の医薬組成物。